令和３年９月２日

各中学校卓球部顧問（部長）様

松山卓球協会中学部長　石山　将成

松山市中体連卓球専門部長　井上　　律

**令和３年度松山地区中学団体卓球対抗戦**

**兼　愛媛県中学団体選抜卓球大会中予地区予選**

**組み合わせ抽選の方法について（改定版）**

例年、夏休み中の大会と２学期に行われる松山地区中学生選抜大会（以下「選抜大会」）の結果をポイント化して、選手の所属校のポイントとして考えていました。しかしながら、現在の松山地区の新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を考えると、今年度は「選抜大会に出たくても出られない学校」がある程度出ることが予想されます。

　よって、標記の件につきまして、今年度は以下の１～３のように行います。

１　松山卓球選手権（８月１日実施）の、原則、中学２年生の部の結果を以下のようにポイント化し、選手の所属する学校に対してポイントを与える。

　・推薦選手・・・・９点

・第１位・・・・・８点

　・第２位・・・・・７点

　・ベスト４・・・・６点

　・ベスト８・・・・５点

　・ベスト１６・・・４点

　・ベスト３２・・・３点

　・ベスト６４・・・２点　※女子は敗者復活戦勝者（ベスト４８）に該当する選手

２　出場校の監督によるシードアンケートを実施する。（１２月下旬予定）

３　専門部役員と出場校の監督（参加希望者）により、組み合わせ抽選の方法を決める会議を実施する。（１月上旬予定）

この会議にて、１のポイント、２のシードアンケート、選抜大会の結果等を参考にし、総合的に判断しながら抽選方法の案を決定する。なお、出場校の監督はこの会議に出席する権利がある。団体対抗戦の申込時に併せて、会議への参加希望を取るものとする。

＜参考＞

・本大会の順位決定リーグ戦に進出した男女各８チームが、１月３０日（日）松山市総合コミュニティセンターで行われる愛媛県中学校選抜団体卓球大会(兼全国・四国選抜予選)への出場権を得るものとします。ただし、『中体連主催の愛媛県中学校新人体育大会（卓球の部）優勝の学校については、地区予選を免除し、愛媛県中学選抜卓球大会の第１シードとする。』との規定がありますので、これに該当することになった学校は松山地区団体対抗戦の予選リーグが免除となり、順位決定リーグからの出場となります。

・松山市のチームについては、順位決定リーグ戦及び決勝トーナメントに出場したチームの中で、順位の高いチーム順に、市総体の第３・第４シードを決定します。なお、第１・第２シードについては、松山市中学校新人体育大会（卓球の部）の１、２位校になります。

※これは基本的な考え方です。新人大会の結果等により変更される可能性があります。